



中川 大祐 大阪支部 常任幹事

今まであまり直接的な関わりを感じたことはなかったですが、自分が運営する立場になって改めて補助事業を実感しました。

今回は岸和田競輪場内に造られた「サイクルピア岸和田」を訪問。実際に運営にも参加・協力されているという大阪支部の中川大祐選手にご一緒いただき、支部をあげての取り組みなど、お話を伺いました。

競輪つてこんなこと やっっているんだ!!

若い選手たちにはどんどん前に出てきてほしい。
11月23日はいわき平で被災地支援イベントも行います。

——大阪支部の皆さんがこのサイクルピア岸和田の運営を行っているということですが、具体的にはどんなことをされているのですか？

「まずはBMX競技大会のお手伝いとして、役員を中心に資格を取って、審判を務めてもらっています。それとBMXだけじゃなくて、バンク走行会やロードのクラブなんかもやっているんですけど、毎回現役選手2〜3人に参加してもらう形ですね。バンク走行会はずいぶん人気で、それほど告知もしていなかったんですけど、前は50人近くの申し込みがあつて。やっぱり今、自転車というもののニーズがすごくあるし、イベント感覚で来てくれるんだと思うんですよ。BMXのほうもいつも子供たちで賑わってますし、毎週のようには何かしらできればいいなと。まずは競輪場を活気づかせて賑やかにさせる

ことが目標ですね」

——主に競技大会などに競輪の補助が役立てられているそうですが。

「今までは補助事業といっても、直接的な関わりはあまり感じたことがなかったんですけど、実際自分たちが大会を運営するとすると、開催にはいろいろなお金が掛かるし、やっぱり自転車のことに関しては理解があるので、本当に有り難いなど。自分がこういう立場になって改めて補助事業を実感しましたね(笑)」

——現在の大阪支部の雰囲気はいかがですか？

「他の支部よりは役員と会員との年代も近いので、すごく親近感はあると思います。それにこのサイクルピア岸和田の運営もそうですけど、選手みんなが色々楽しく受けてくれるので、まともには感じますよね。あとはこれからもっと若い

子たちが前に出てきてくれたらなど。今、稲川翔を中心に若手が集まっている練習会を月に1、2回やっているんですけど、今まではそういうのもなかったんですよ。練習でみんなが交流して、どんどん強くなつて行ってくれたらいいなと思うし、若い子たちが積極的に意見を出したり、意識を高めてくれると嬉しいですね」

——11月23日には被災地支援として、いわき平競輪場でイベントを行うそうですね。

「そうですね。これまで募金活動などもしてきたんですけど、支部として何かお手伝いできることはないかと考えていて、福島支部のほうに連絡を取ったら、ちょうどイベントがあるということで、今回は関西サイクルスポーツセンターさんと一緒に自転車を留意して参加させてもらうことになりました。少しでも明るい話題を向こうに持つて行ければと。今後毎年1回はこういった被災地支援をやりたいこうと話しているところです」

——最後に、ファンの方々にメッセージを。

「これから僕らもどんどん表に立つて、ファンの方とも交流して行く機会が増えると思うので、よろしくお願いします」